

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)		
事業名	生命(いのち)の安全教育推進事業			担当部局庁	総合教育政策局		作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	男女共同参画共生社会学習・安全課		男女共同参画共生社会学習・安全課長 安里 賀奈子	
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	第5次男女共同参画基本計画(令和2年12月25日閣議決定)、成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定)、女性活躍・男女共同参画の重点方針2022(令和4年6月3日すべての女性が輝く社会づくり本部決定)、経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定)、性犯罪・性暴力対策の強化の方針(令和2年6月11日性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議)、こども・若者の性被害防止のための緊急対策パッケージ(令和5年7月 26 日性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議、こどもの性的搾取等に係る対策に関する関係府省連絡会議決定)			
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費			
施策	1-6 男女共同参画・共生社会の実現及び学校安全の推進							
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-1_6.pdf							
事業の目的 (5行程度以内)	近年、子供たちが性犯罪被害にあう機会が増加しており、中でも、強制性交等の重要犯罪被害者の9割以上が女性となっている。国際連合においても女性に対する暴力が生まれる背景に女性の人権を軽視する傾向があるとの指摘がなされていることから、若年者を対象とした性被害・加害を未然に防ぐための学校等における指導モデルの開発や男女共同参画意識を育む指導教材等の開発を実施し、性被害、性暴力の予防啓発、及びその背景にある性差別意識の解消を図る。							
現状・課題 (5行程度以内)	令和2年6月の「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」(性犯罪・性暴力対策強化のための関係府省会議決定)では、性犯罪・性暴力の根絶は、待ったなしの課題であり、その根絶に向けて、誰もが、性犯罪・性暴力の加害者にも、被害者にも、傍観者にもならないよう、社会全体でこの問題に取り組む必要があるとされている。文部科学省では、関係府省とも連携して、生命の尊さを学び命を大切にする教育、自分や相手、一人ひとりを尊重する教育を推進し、子供たちを性暴力の加害者にさせない、被害者にさせない、傍観者にさせないための教育・啓発活動を実施することが求められている。 また、性被害・性暴力を防ぐためには、その背景にある性差別意識の解消を図ることも重要であるが、第5次男女共同参画基本計画(令和2年12月25日閣議決定)においては、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定観念、無意識の思い込みは、往々にして幼少の頃から長年にわたり形成されてきており、女性と男性のいずれにも存在すると指摘されている。							
事業概要 (5行程度以内)	内閣府と文部科学省が共同で作成した「生命(いのち)の安全教育」の教材及び指導の手引き等を活用して、実践校において地域や学校等の実態に応じて指導モデルを作成し、他の学校等への普及・展開を図る。また、学校種や地域の実情などを踏まえた指導事例(指導案等)や教員研修を実施している事例等の収集を行い、全国への普及・展開を図るとともに、「生命(いのち)の安全教育」に取り組む学校等が容易かつ効果的に授業を実施しやすいよう、指導過程を解説した動画を作成し、全国教育委員会等を通じて活用を促進する。(取組A)小・中学生を対象にした、性差に関する偏見や固定的な性別役割分担意識の解消を図る指導教材等を活用し、学校における実証を通じて指導教材等の改善・普及を図る。(取組B)(令和4年度限り)							
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/danjo/anzen/index.html https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1376840_00004.htm							
実施方法	委託・請負							
補助率等	-							
予算額・執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の状況	当初予算(A)	-	32.9	32.9	32.6	45.5	
		補正予算(B)	-	-	-	30		
		令和5年度第1次補正予算				30		
						-		
						-		
						-		
						-		
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-		
		予備費等(E)	-	-	-	-		
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	32.9	32.9	62.6	45.5		
	執行額(G)			26.4	29.5			
	執行率(%) =(G)/(F)		-	80%	90%			
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/{(A)+(B)}		-	80%	90%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)		教育政策推進費		-			
		(目)	教育政策推進事業委託費	29.7				42.3
		(目)	庁費	2.0				2.3
		(目)	諸謝金	0.4				0.4
		(目)	職員旅費	0.3				0.3
		(目)	委員等旅費	0.2				0.2
			その他					▲ 0
	計(A)		32.6	45.5				

活動内容① (アクティビティ)		内閣府と文部科学省が共同で作成した「生命(いのち)の安全教育」の教材及び指導の手引き等を活用して、実践校において地域や学校等の実態に応じて指導モデルを作成し、他の学校等への普及・展開を図る。また、学校種や地域の実情などを踏まえた指導事例(指導案等)や教員研修を実施している事例等の収集を行い、全国への普及・展開を図るとともに、「生命(いのち)の安全教育」に取り組む学校等が容易かつ効果的に授業を実施しやすいよう、指導過程を解説した動画を作成し、全国の教育委員会等を通じて活用を促進する。(取組A)								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		予防啓発教材を活用した学校等における指導モデル構築	学校における生命(いのち)の安全教育教材を活用した実践校数	活動実績	箇所	-	49	55	-	-
				当初見込み	箇所	-	49	59		-
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	本事業では、「性犯罪・性暴力対策の強化の方針」に基づき、「生命(いのち)の安全教育」の教材及び指導の手引き等を活用して、実践校において地域や学校等の実態に応じて指導モデルを作成し、他の学校等への普及・展開を図ることにより、性犯罪・性暴力の根絶に向けた実効性ある取組を進めるため、性犯罪・性暴力に対する児童生徒の理解度を短期アウトカムとして設定した。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		実践校で「生命(いのち)の安全教育」の教材をもとに指導を受けた児童生徒へのアンケート調査において、性犯罪・性暴力に対する理解について70%以上の評価を得る	実践校で「生命(いのち)の安全教育」の教材をもとに指導を受けた児童生徒の理解度	成果実績	%	-	89.9	95.5	-	
				目標値	%	-	70	70	75	
				達成度	%	-	128.4	136.4	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		文部科学省調べ								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「生命(いのち)の安全教育」の学校現場での実践を後押しし、全国展開を図ることにより、性犯罪・性暴力の防止に資する取組を強化するため、小・中学校における性犯罪・性暴力防止のための教育の実施率を長期アウトカムとして設定した。 なお、本事業は、若年層の性被害・性暴力件数の減に資するものであるが、その実現は本事業によってのみ達成できるものではないため、本事業のアウトカムとして設定することは困難である。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
		小・中学校における性犯罪・性暴力防止のための教育の実施率を90%まで増加させる	小・中学校における性犯罪・性暴力防止のための教育の実施率	成果実績	%	-	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	90	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の根拠として用いた統計・データ名(出典)/定性的なアウトカムに関する成果実績		学校安全の推進に関する計画に係る取組状況調査								
アウトカム設定についての説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		-								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		-								

活動内容② (アクティビティ)		小・中学生を対象にした、性差に関する偏見や固定的な性別役割分担意識の解消を図る指導教材等を活用し、学校における実証を通じて指導教材等の改善・普及を図る。(取組B)(令和4年度限り)									
↓											
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		モデル教材の作成と教材の実証	モデル教材の実証校数	活動実績	箇所	-	-	8	-	-	
				当初見込み	箇所	-	-	6	-	-	
↓	成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	性被害・性暴力を防ぐためには、その背景にある性差別意識の解消を図ることも重要である。第5次男女共同参画基本計画においては、固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定観念、無意識の思い込みは、往々にして幼少の頃から長年にわたり形成されてきており、女性と男性のいずれにも存在すると指摘されているところ、本事業において、それらの解消を図る実証を行うため、男女共同参画に対する児童生徒の理解度を長期アウトカムとして設定した。									
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 - 年度		
		モデル教材を活用した授業を受けた児童生徒へのアンケート調査において、男女共同参画に対する理解について70%以上の評価を得る	モデル教材を活用した授業に対する児童生徒の理解度	成果実績	%	-	-	85.7	-		
				目標値	%	-	-	70	-		
				達成度	%	-	-	122.4	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省調べ									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由									
		-									
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由									
		本事業では、性被害・性暴力の背景にある固定的な性別役割分担意識や性差に関する偏見・固定観念、無意識の思い込みの解消を図る実証を行う、プログラムの有効性を高めることを目的とした事業であることから、男女共同参画に対する児童生徒の理解度を長期アウトカムとして設定している。 なお、本事業は、若年層の性被害・性暴力件数の減に資するものであるが、その実現は本事業によってのみ達成できるものではないため、本事業のアウトカムとして設定することは困難である。									

[illegible]

※なお、金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。

・諸謝金 0.3百万円
・職員旅費、委員等旅費 0.3百万円
・庁費 0.9百万円
を含む

文部科学省
29.5百万円

委託 【随意契約(企画競争)】

A.大学・教育委員会・学校法人・NPO等
(全20件)
7.1百万円

発達段階に応じた、「生命(いのち)を大切にする」「加害者にならない」「被害者にならない」「傍観者にならない」ための「生命(いのち)の安全教育」教材及び指導の手引き等を活用して、実践校において指導モデルの作成を行う。

再委託 【随意契約(その他)】

B.教育委員会
(全2件)
0.4百万円

委託 【随意契約(企画競争)】

C.イノベーション・デザイン＆テクノロジー
ズ株式会社
12百万円

「生命(いのち)の安全教育」の教材や指導の手引き等を活用して、学校種や地域の実情などを踏まえた指導事例(指導案等)や、全体計画や指導計画などに位置付けている事例及び教員研修等を実施している事例の収集を行い、全国の学校等の参考となる優れた事例を取りまとめる。

委託 【随意契約(企画競争)】

D.株式会社ユーミックス
9百万円

アンコンシャス・バイアスの解消を図るため、学校等においてその教材や指導の手引き等を活用した指導モデルを作成する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかに
ついて補足する)
(単位：百万円)

